



Cisco Catalyst 2.4 GHz および 5/6 GHz デュアルバンド偏波ダイバーサ指向性 パッチアンテナ (C-ANT9103=)

初版: March 13, 2020
最終更新日: 2020 年 4 月 17 日

このドキュメントでは、Cisco Catalyst 2.4 GHz および 5/6 GHz デュアルバンド偏波ダイバーサ指向性パッチアンテナ (C-ANT9103=) について説明し、電氣的仕様および取り付け手順を示します。

このアンテナは、2.4 GHz 帯域および拡張 5 GHz 帯域 (最大 7.125 GHz) で動作する 8 進 DART ポート偏波ダイバーサパッチアンテナ、および IoT です。8 つの RF パスと 16 のデジタル回線があり、LED も付いています。アンテナには、平面およびマストで使用するための連結マウントが同梱されており、水平面および垂直面で調整可能です。

このアンテナは、4 つのデュアルバンドアンテナおよび 4 つの 5/6 GHz アンテナを必要とする承認済みの Cisco Catalyst シリーズ アクセスポイントがある屋内環境および屋外環境で使用されるように設計されています。アンテナには、Cisco Catalyst シリーズ アクセスポイントによるアンテナの自己識別を可能にする回路も含まれています。

このマニュアルには、次の情報が記載されています。

- [技術仕様 \(2 ページ\)](#)
- [方位角面および仰角面の放射パターン \(3 ページ\)](#)
- [安全上の注意 \(7 ページ\)](#)
- [設置時の注意事項 \(8 ページ\)](#)
- [アンテナおよびブラケット キットの内容 \(9 ページ\)](#)
- [アンテナおよびブラケットの寸法 \(10 ページ\)](#)
- [アンテナの取り付け \(13 ページ\)](#)
- [通信、サービス、およびその他の情報 \(26 ページ\)](#)

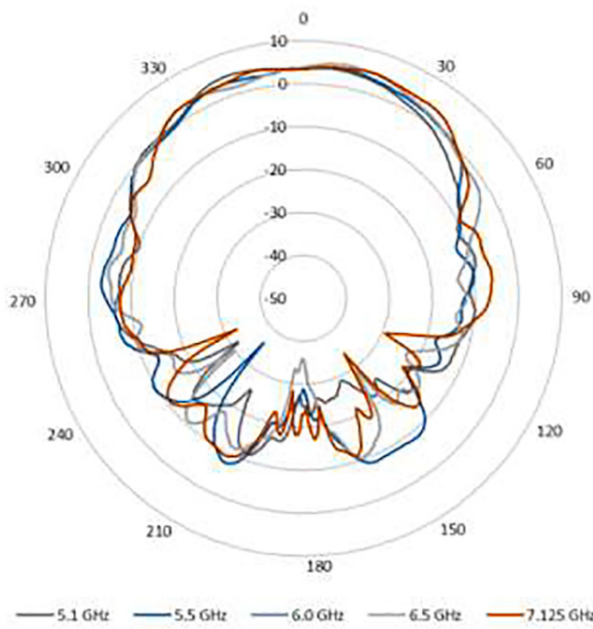


技術仕様

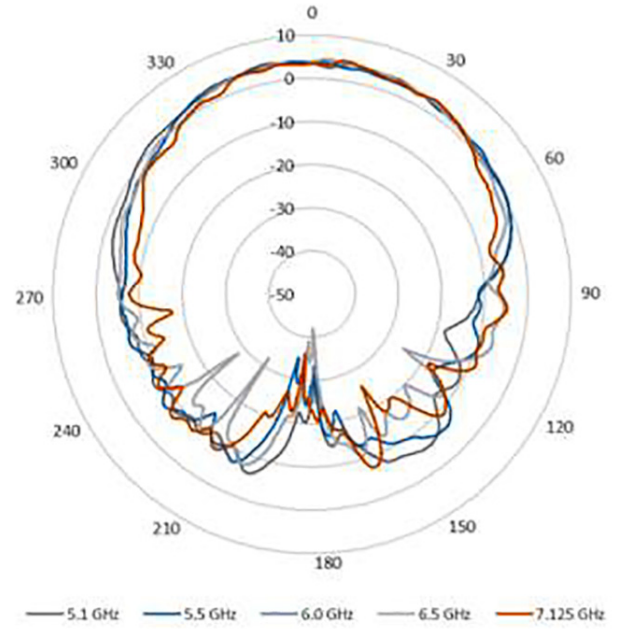
Antenna Type	8 エlement MIMO デュアルバンド偏波ダイバース適度な指向性パッチ、壁面またはポール取り付け		
動作周波数範囲	2.4 ~ 2.484 GHz	5.15 ~ 7.125 GHz	2.4 ~ 2.484 GHz (IoT)
公称入力インピーダンス	50 オーム	50 オーム	50 オーム
電圧定在波比 (VSWR)	2:1	2:1	2:1
最大利得	6 dBi	6 dBi	6 dBi
偏波	垂直	デュアル偏光 (垂直および水平)	混合
公称仰角面ビーム半値角	70°	70°	70°
公称方位角面ビーム半値角	75°	70°	70°
前面から背面への比率	> 15 dB	> 15 dB	> 15 dB
ポート間分離	> 20 dB	> 20 dB	> 20 dB
30° 以上の仰角ピーク ゲイン	3 dBi		
コネクタタイプ	直角 8 進 DART		
ケーブル長	76 cm (2.5 フィート)		
長さ	30.48 cm (12 インチ)		
幅	30.48 cm (12 インチ)		
高さ	4.1 cm (1.2 インチ)		
重量	1.13 kg (2.5 ポンド)		
水/異物の侵入	IP66		
運用可能風速	120 mph		
動作時の温度範囲	-40°C ~ 70°C		
保管時の温度範囲	-60°C ~ 90°C		

方位角面および仰角面の放射パターン

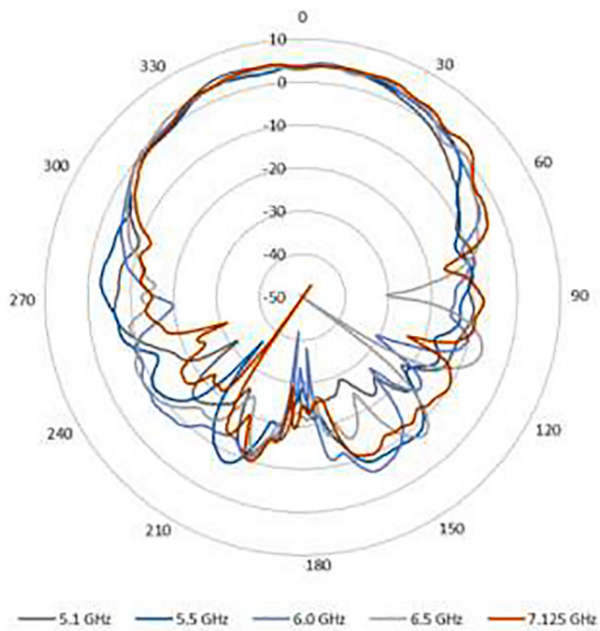
仰角: ポート A



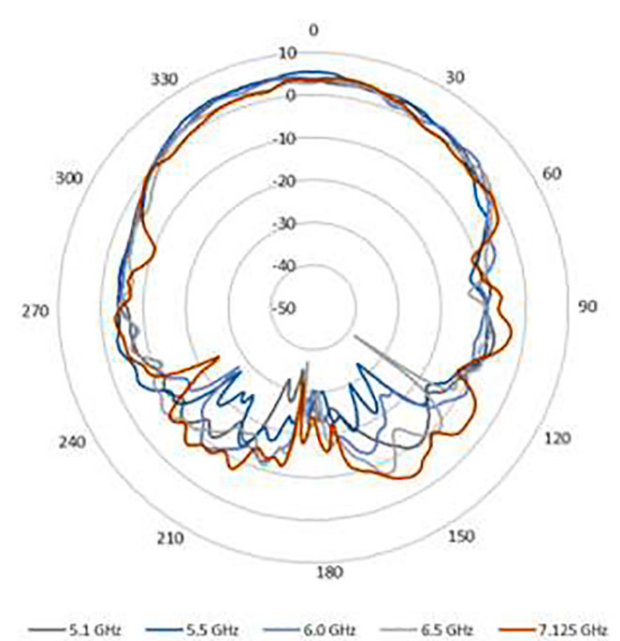
方位角: ポート A



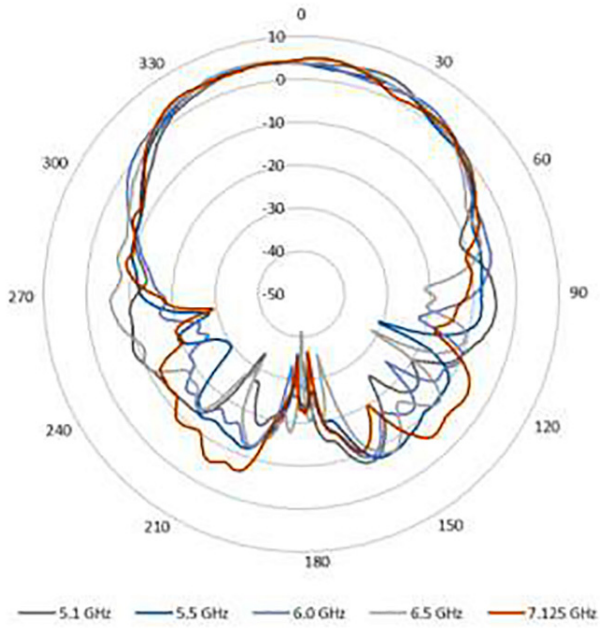
仰角: ポート B



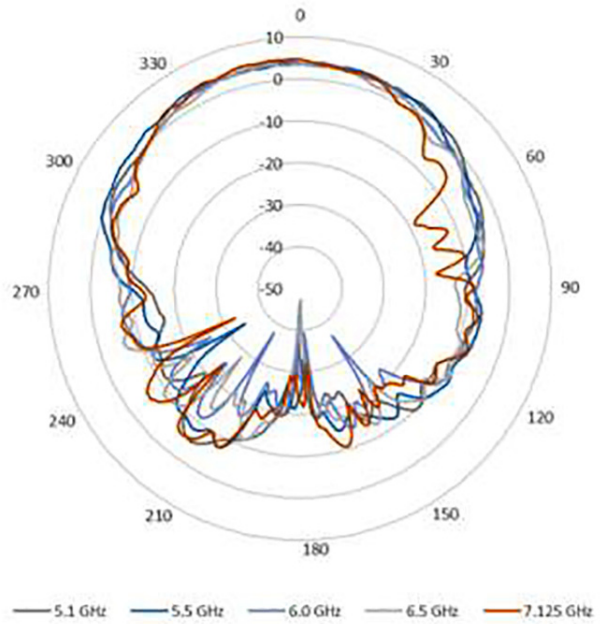
方位角: ポート B



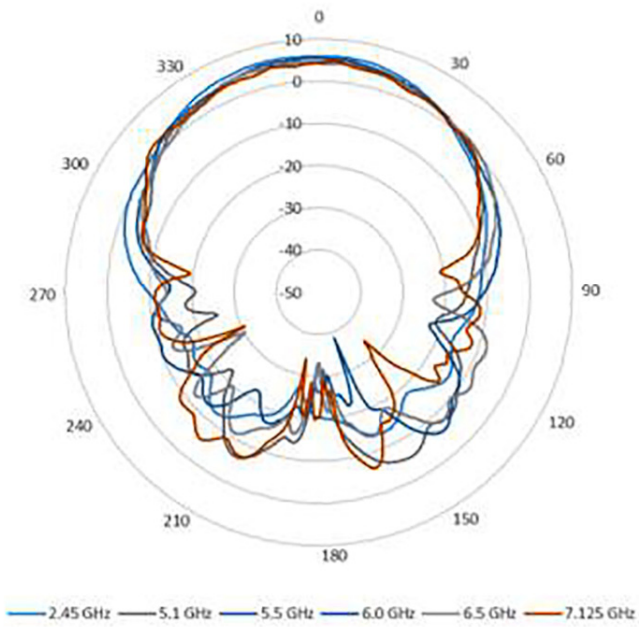
仰角:ポート C



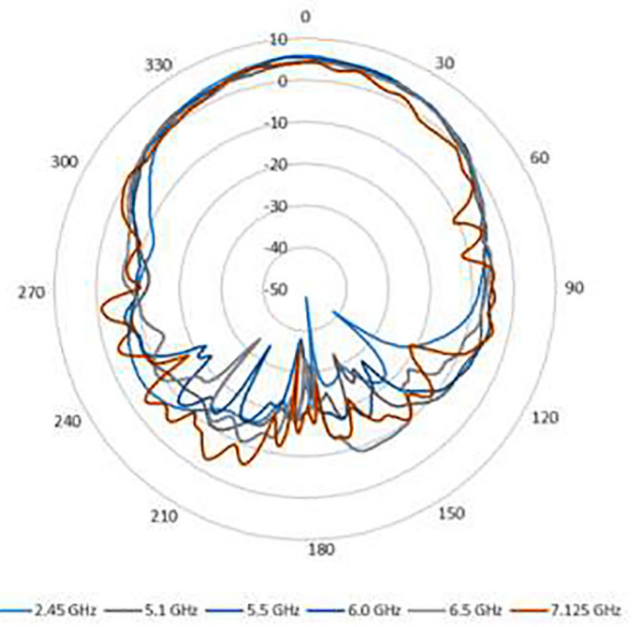
方位角:ポート C



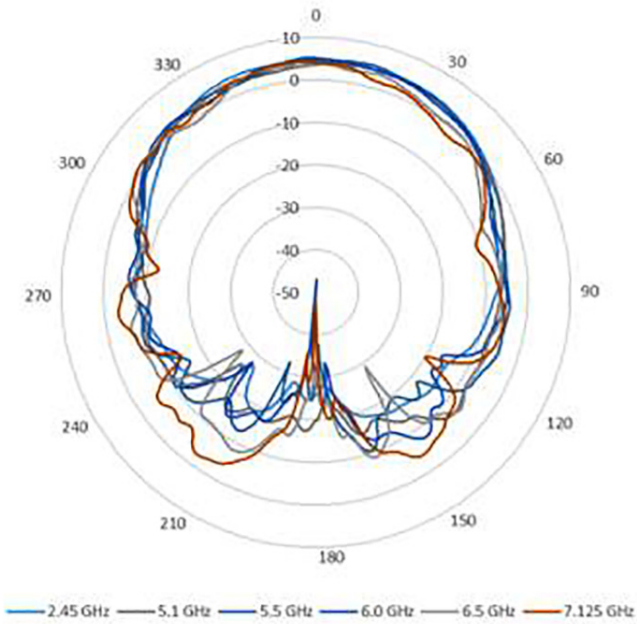
仰角:ポート D



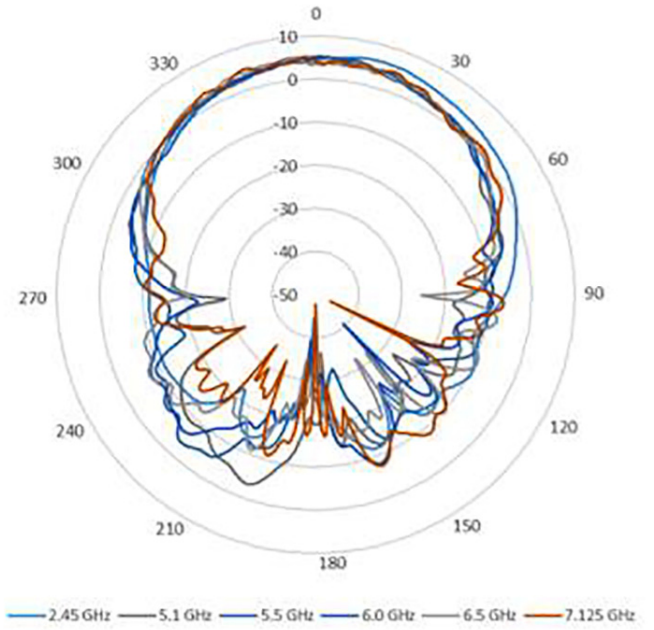
方位角:ポート D



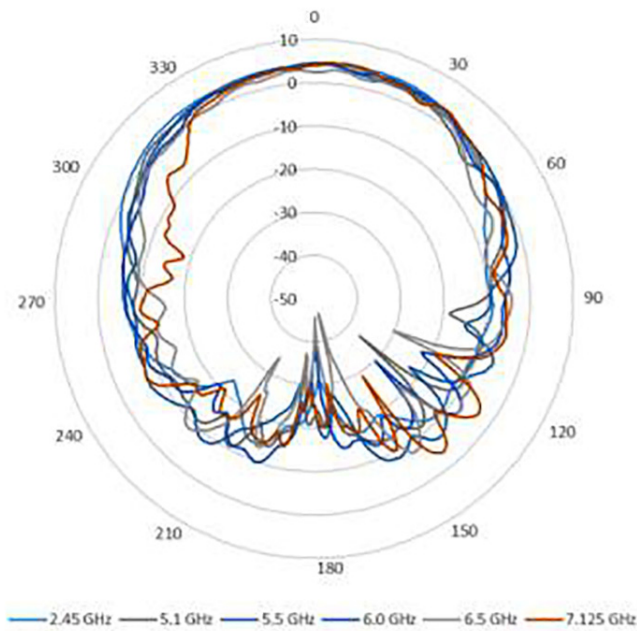
仰角:ポート E



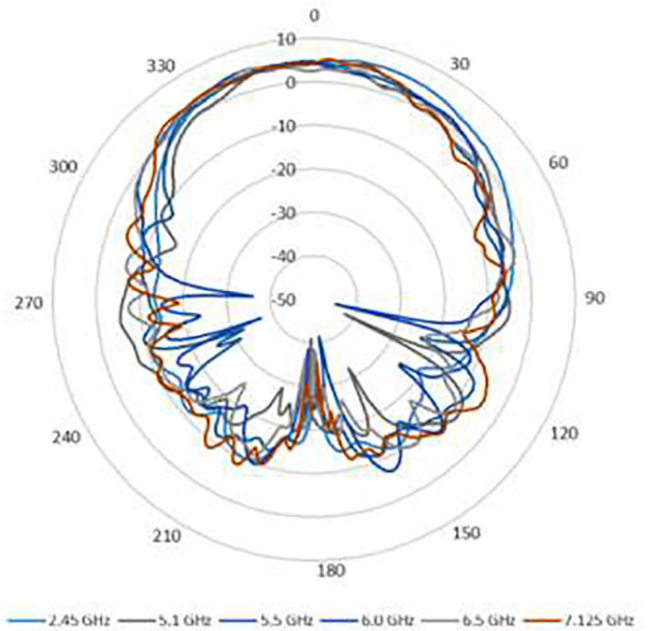
方位角:ポート E



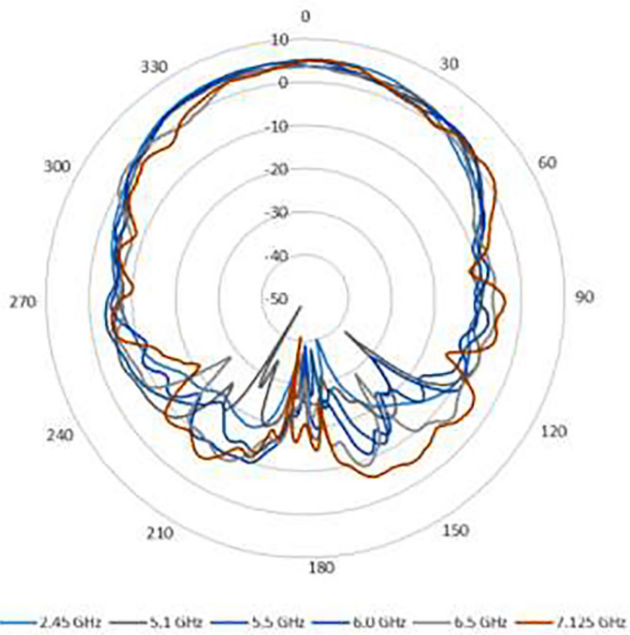
仰角:ポート F



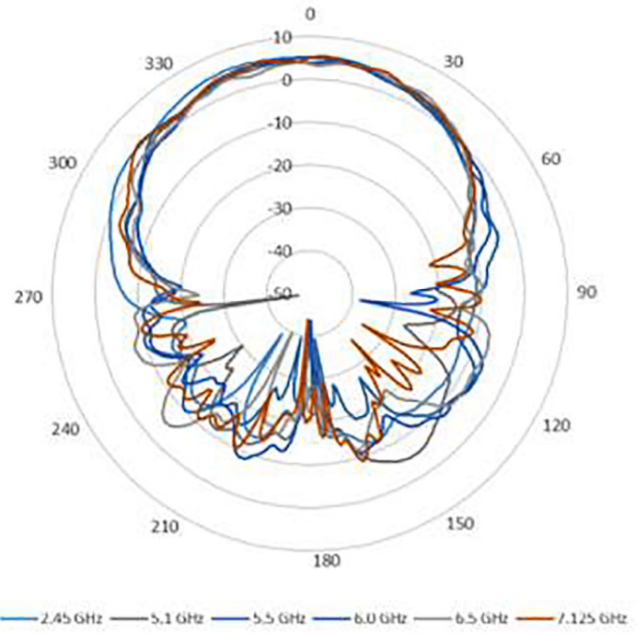
方位角:ポート F



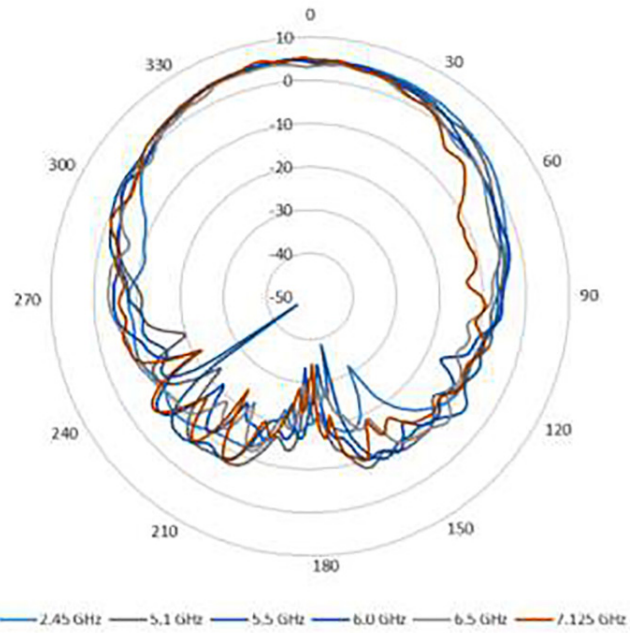
仰角:ポート G



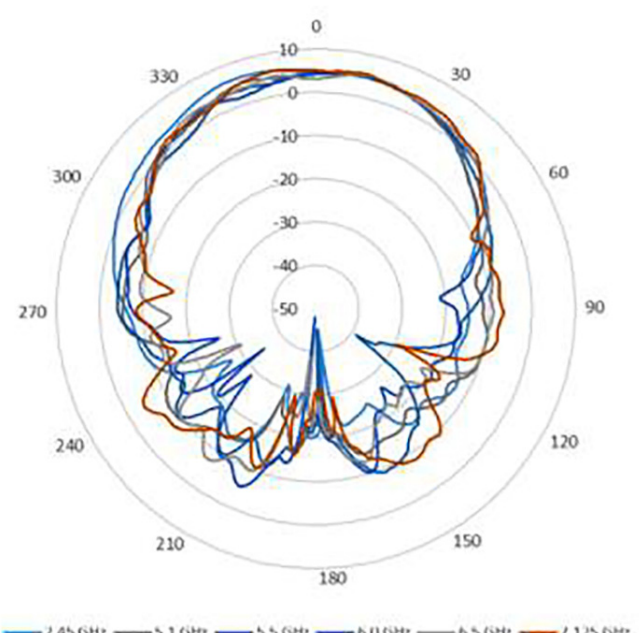
方位角:ポート G



仰角:ポート H



方位角:ポート H



安全上の注意

警告 電源コードの近くにこのアンテナ取り付けすることは危険です。安全のために、設置手順に従ってください。

毎年、数百人の人がアンテナの設置時に死亡したり、負傷しています。これらの多くで、犠牲となった人は感電死の危険性を認識していましたが、危険を避けるのに十分な対策を講じていませんでした。

安全を確保し、適切に設置するために、次の安全に関する注意事項を読み、その指示に従ってください。人命に影響する場合があります。

- 今までにアンテナを取り付けたことがない場合は、自分自身と周囲の安全のため、専門家に指示を仰いでください。シスコの営業担当者は設置するアンテナのサイズとタイプに応じた取り付け方法を説明できます。
- 安全性とパフォーマンスを念頭に置いて、取り付け場所を決定します。電力線と電話回線は類似していることに注意してください。どのような架空線であっても、感電事故の危険性があると見なすようにします。
- 電力会社にお問い合わせください。計画の内容を伝え、提案する設置方法を実際に見て確認するように依頼してください。少しの手間をかけるだけで、人命へのリスクを避けることができます。
- 取り付けを開始する前に、取り付け手順を綿密に計画します。マストやタワーを正常に構築できるかどうかは、作業の連携に大きく依存します。各作業員はそれぞれ特定のタスクを受け持ち、そのタスクの内容とタイミングを認識している必要があります。1人の作業員が作業の責任者となって指示を出し、トラブルの兆候がないかをモニタします。
- アンテナを取り付けるときは、次の点に注意してください。
 - 金属製のはしごを使用しない。
 - 雨の日や風の強い日には作業しない。
 - 適切な衣服を着用する。靴底とかかと部分がゴム製の靴、ゴム製の手袋、および長袖のシャツまたはジャケットを着用する。
- 組み立て部品が落下しかけた場合は、その場所から離れ、部品をそのまま落としてください。アンテナ、マスト、ケーブル、金属製の支線は、すべてが電流を非常によく通すことに留意してください。これらの部分のいずれかが電力線にわずかに触れただけでも、アンテナと設置者を經由する電気回路が形成されます。この設置者は読者自身です。
- アンテナシステムのいずれかの部分が電力線に接触した場合は、触ったり、取り除こうとしたりしないでください。現地の電力会社にお問い合わせください。電力会社の担当者が安全に取り除きます。
- 電力線に事故が発生した場合は、すぐに有資格の緊急救助組織に連絡してください。

警告文やそれらの翻訳のリストについては、次の URL にある『*Translated Safety Warnings for Cisco Aironet Access Points*』を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/access_point/warnings/reference/guide/ap_warn1.html

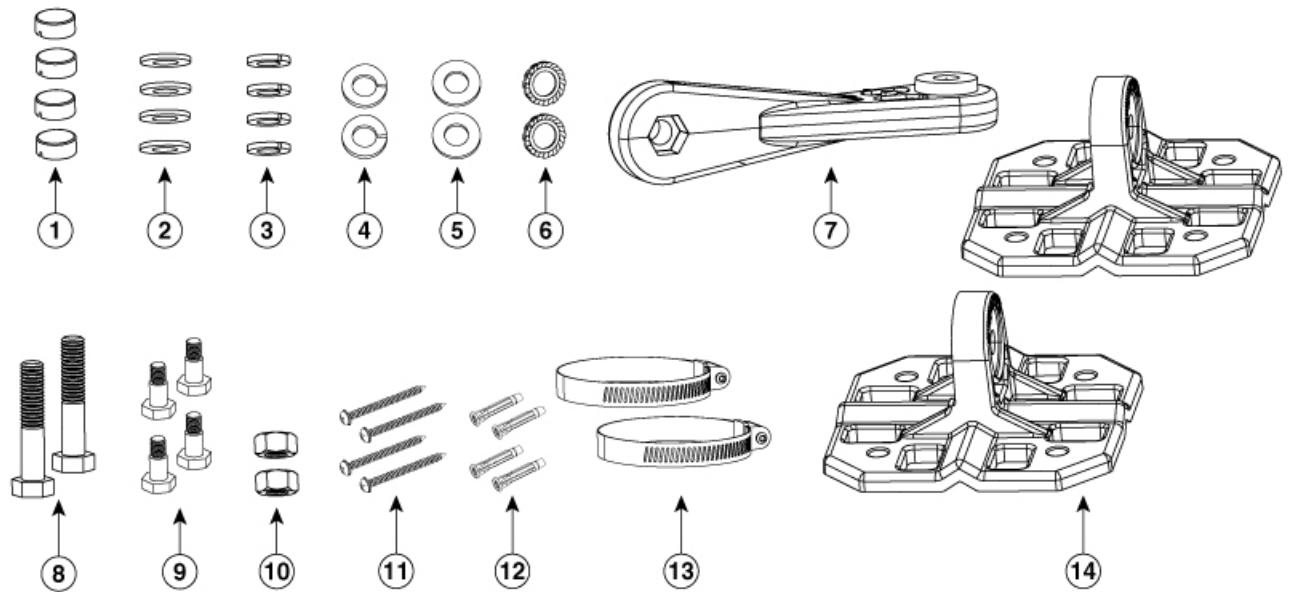
設置時の注意事項

アンテナでは無線信号が送受信されるため、RF 障害物や一般の干渉源の影響を受けやすく、接続先デバイスのスループットが低下したり、範囲が小さくなる可能性があります。最高のパフォーマンスを得るため、次のガイドラインに従ってください。

- アンテナを垂直に設置し、ケーブルを地面に向けて取り付けます。
- ヒーターやエアコン用ダクトなどの金属製障害物、大型の天井トラス、建物の上部構造、主要な電力ケーブル配線の近くにアンテナを配置しないでください。必要に応じて、剛性のコンジットを使用して、アンテナを低くしてこれらの障害物から遠ざけます。
- 屋外環境では、アンテナを避雷器に接続し、適切な接地を確保してください。
- 建物の建築部材の密度によって、信号が妥当な強度を維持しながら通過できる壁の枚数が決まります。アンテナの設置場所を選択する前に、次のことを考慮してください。
 - 信号は、信号強度へのわずかな変化で、紙製およびビニール製の壁を透過します。
 - 信号は、信号強度の劣化なしで、中空でないプレキャスト コンクリート製の壁を 1 ～ 2 枚のみ透過します。
 - 信号は、信号強度の劣化なしで、コンクリート製およびウッドブロック製の壁を 3 ～ 4 枚透過します。
 - 信号は、信号強度の劣化なしで、乾式壁または木製の壁を 5 ～ 6 枚透過します。
 - 信号は、厚い金属製の壁では反射し、まったく透過しない可能性があります。
 - 信号は、間隔が 2.5 ～ 3.8 cm (1 ～ 1.5 インチ) のフェンスや金網で反射される可能性があります。フェンスがハーモニック リフレクタとして機能して、信号がブロックされます。
- アンテナは、電子レンジや 2 GHz のコードレス電話から離して取り付けます。これらの製品は、アンテナの接続先のデバイスと同じ周波数範囲で動作するため、信号の干渉が発生する可能性があります。

アンテナおよびブラケット キットの内容

図 1 アンテナブラケットキットの内容

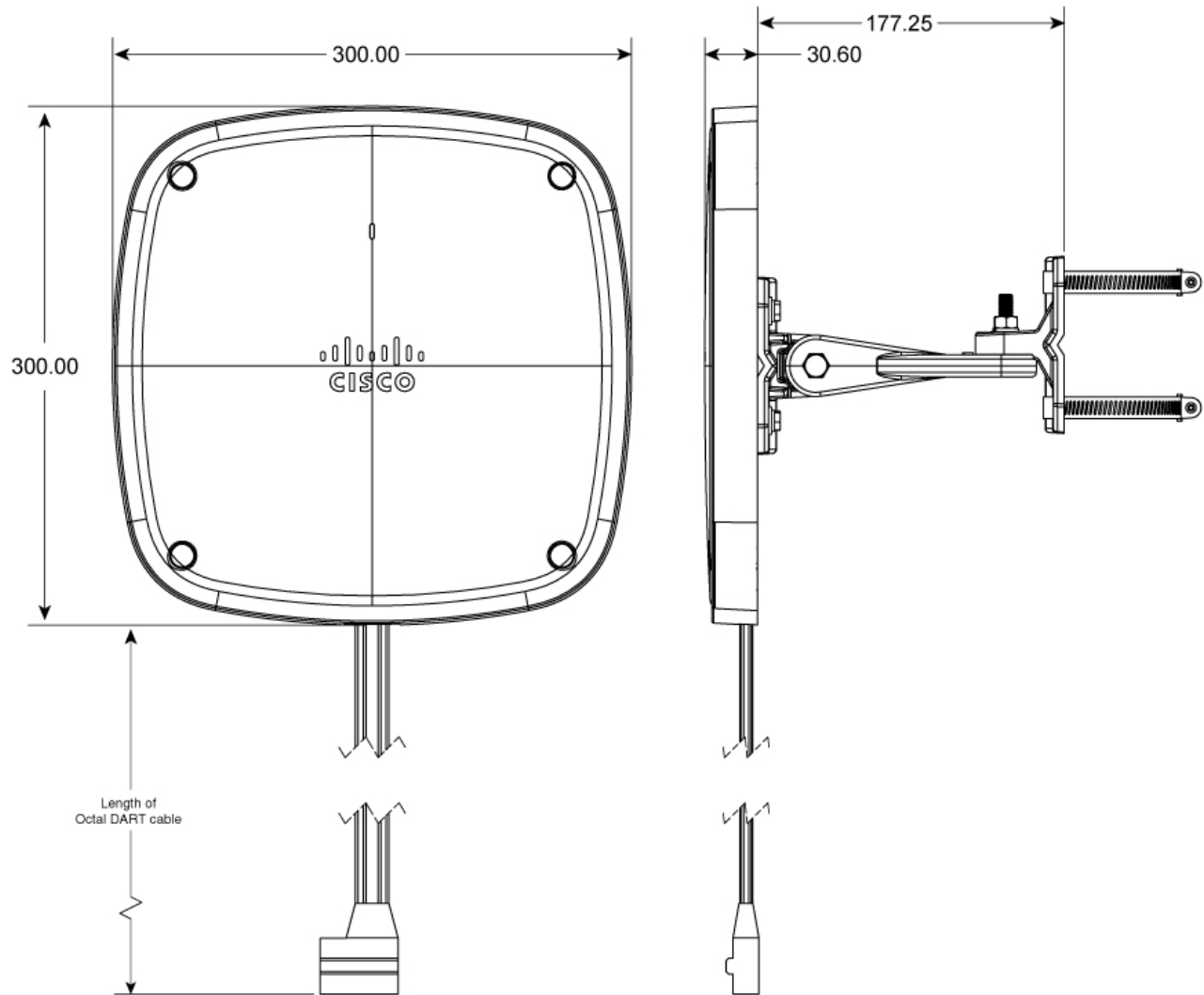


1	キャッププラグ。キットには 4 個入っています。	8	$5/16$ - 18 ボルト。キットには 2 個入っています。
2	$1/4$ インチのステンレス製平ワッシャ。キットには 4 個入っています。	9	M5 X 0.8 ボルト、14.2 L。キットには 4 個入っています。
3	$1/4$ インチのステンレス製スプリットロックワッシャ。キットには 4 個入っています。	10	0.3125-18 ナット。キットには 2 個入っています。
4	$5/16$ インチのステンレス製スプリットロックワッシャ。キットには 2 個入っています。	11	#8-18 ステンレス製セルフタップネジ。キットには 4 個入っています。
5	$5/16$ インチのステンレス製平ワッシャ。キットには 2 個入っています。	12	#6-8、 $1 1/4$ インチのアンカー。キットには 4 個入っています。
6	M8 ステンレス製鋸歯状ワッシャ。キットには 2 個入っています。	13	ウォームギアクランプホース。キットには 2 個入っています。
7	取り付けアーム。キットには 1 個入っています。	14	取り付けには取り付けフランジが必要です。キットには 2 個入っています。

アンテナおよびブラケットの寸法

次の図に示す寸法は、特に断りのない限り、すべて mm 単位です。

図 2 ブラケットおよびケーブルを取り付けたアンテナの寸法



356482

図 3 アンテナ背面のネジ穴および圧力ロの場所

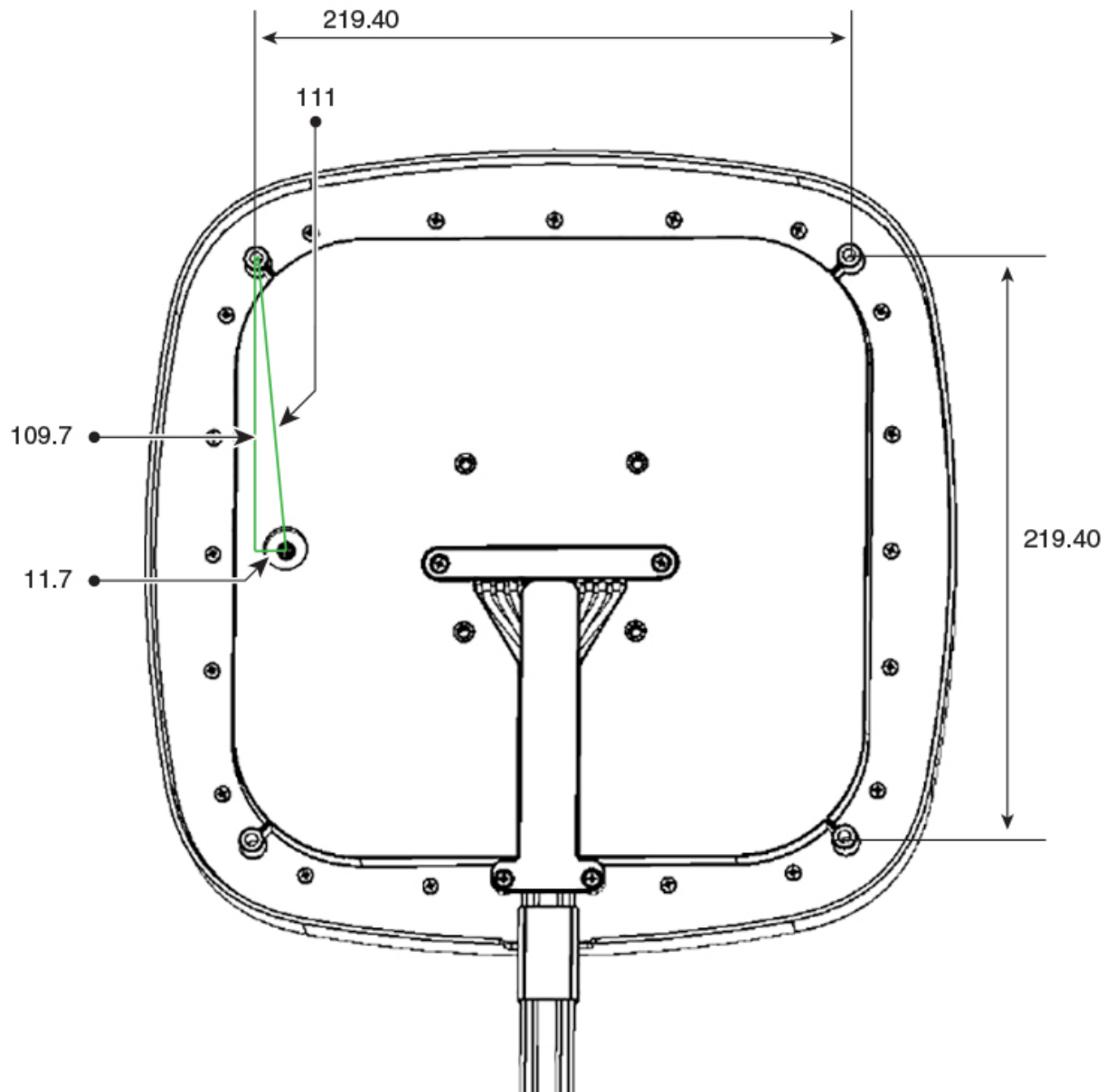
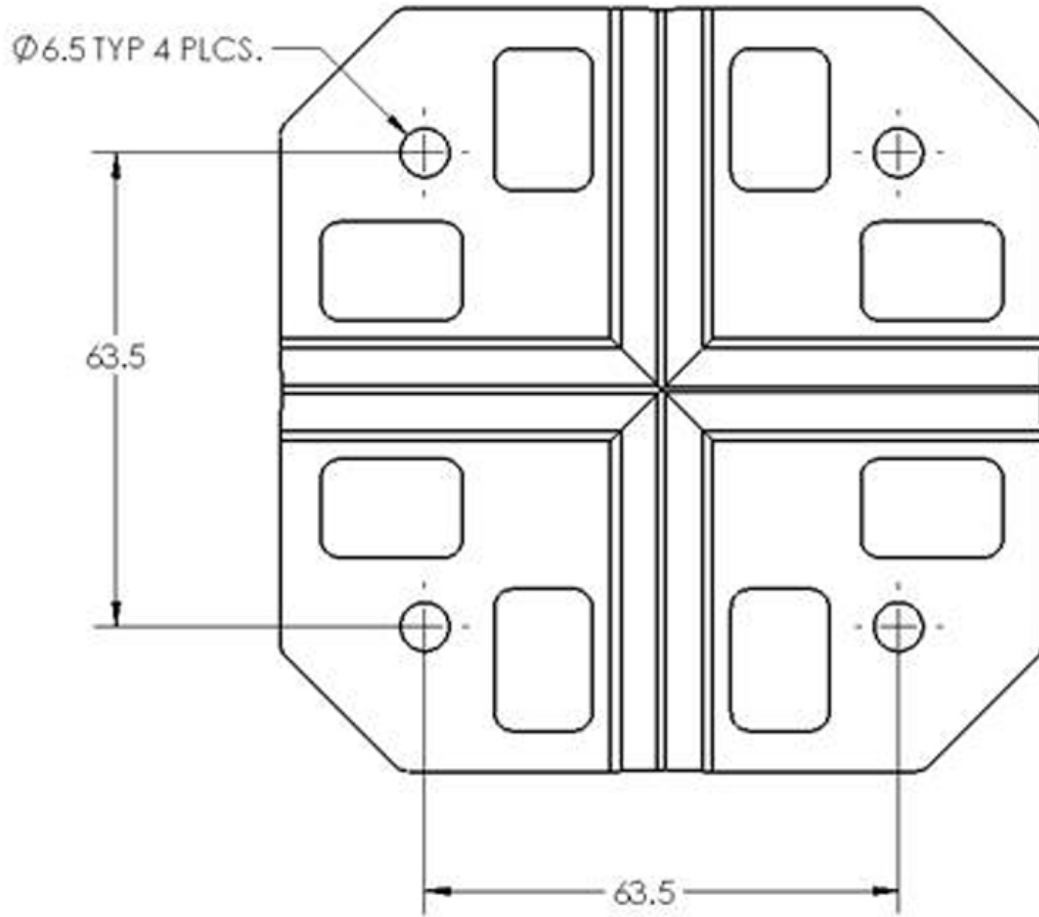


図 4 連結マウントフランジのネジ穴の場所



356487

アンテナの取り付け

壁面または天井(平面であること)、あるいはポール(直径 5.08 cm(2 インチ)～ 12.7 cm(5 インチ))にアンテナを設置できます。

アンテナを設置するには、次の手順に従います。

- ステップ 1 取り付ける場所を決定します。「[取り付け場所の決定](#)」セクション(13 ページ)を参照してください。
- ステップ 2 必要な工具と留め具の準備ができていることを確認してください。「[必要な工具と備品](#)」セクション(14 ページ)を参照してください。
- ステップ 3 アンテナの取り付けに移ります。アンテナを取り付ける際、ブラケット金具を組み立て、アンテナとブラケットを取り付け面に取り付けて、アンテナの向きを調整します。

取り付けには次のオプションを利用できます。

- a. [多関節ブラケットを使用した壁面または天井への取り付け](#) (15 ページ)
- b. [アンテナの取り付け穴を通した壁面への直接取り付け](#) (21 ページ)
- c. [ポールまたはマストへの取り付け](#) (22 ページ)
- d. [AP がアンテナに直接取り付けられている壁面、天井、またはマストへの取り付け](#) (24 ページ)
 - ステップ 4 (オプション)アンテナを塗装します。「[アンテナの塗装](#)」セクション(26 ページ)を参照してください。

取り付け場所の決定

アンテナを取り付ける場合、放射素子がある筐体の横または前に障害物がないようにしてください。このアンテナは所定のカバレッジエリア用であることを念頭に置いてください。したがって、必要な機械的傾斜が得られるようにアンテナを取り付ける必要があります。可能であれば、アクセス ポイントの近くにアンテナを取り付け、使用する接続ケーブルができるだけ短くなるようにしてください。

- 注意** 屋外設置の場合は、ケーブルの出口が下向きになるようにアンテナを設置してください。こうすることで、ケーブルの出口周辺の水はけを良くすることができます。

必要な工具と備品

警告 安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。ステートメント 1071

警告 教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者/資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。ステートメント 1089



警告 この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の説明については、ステートメント 1089 を参照してください。ステートメント 1090



警告 感電のリスクを軽減するために、アンテナの適切な設置およびアース接続については、各国および地域の規定を参照してください。ステートメント 1052

注意 留め具および取り付け面は、アンテナおよびブラケットの重量とともに、アンテナにかかる風圧を支えるため、最小引き抜き力 68 kg (150 ポンド) を維持する必要があります。

注意 ポールまたはマストは、アンテナの重量とともに、風圧による負荷に耐えられる堅牢なものである必要があります。また、ポールまたはマストは、ホース留め金の締め付けに耐える強い構造を持つ必要があります。

アンテナの取り付けを始める前に、各種取り付け手順を詳しく検討し、ここに記載されているすべての工具と留め具が揃っていることを確認します。次に、アンテナおよびブラケットのキットに含まれていない留め具と工具の一般的なリストを示します。

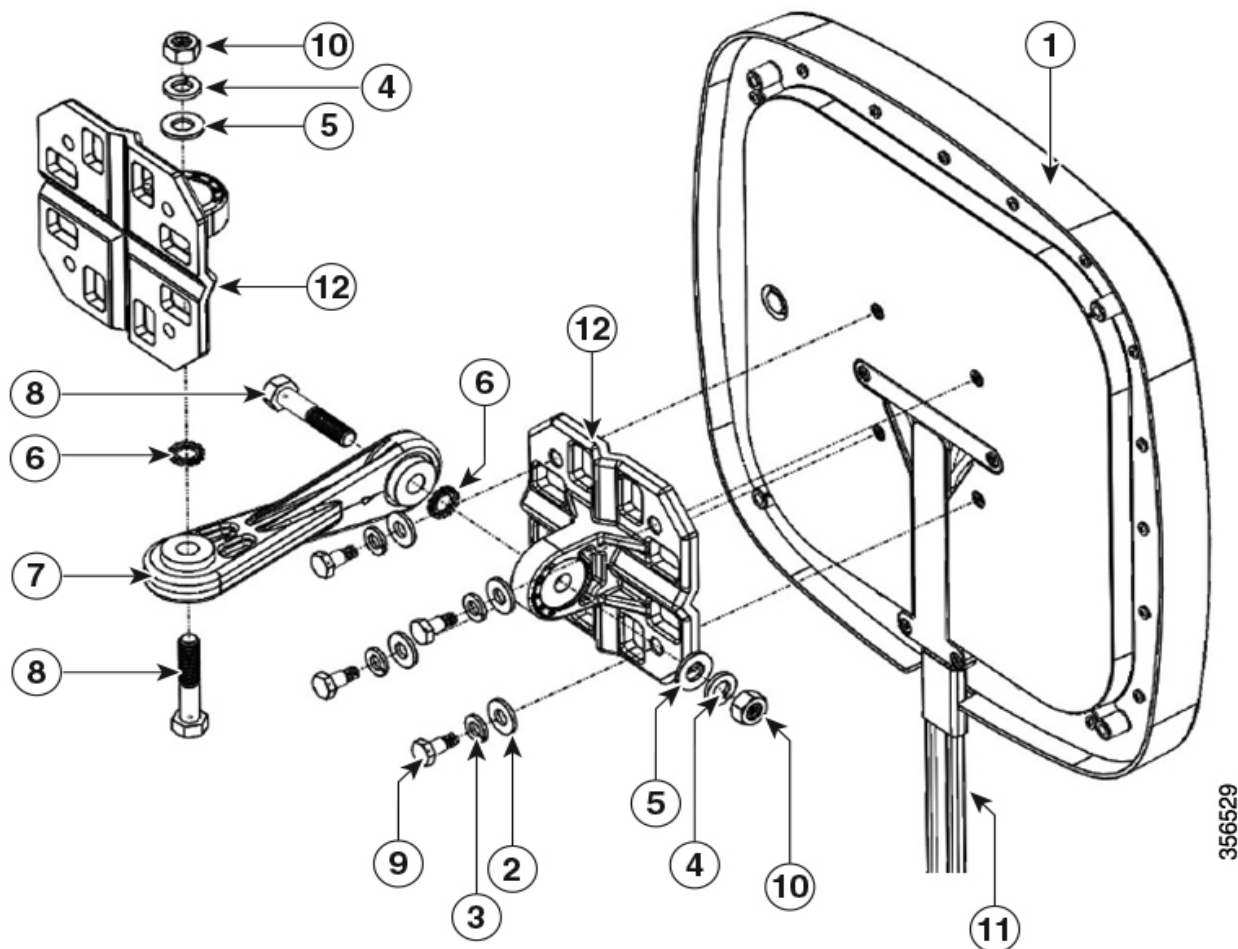
- 壁や天井にアンテナを取り付けるには、4 本の 4 mm または #8 の取り付けネジやボルトと壁面アンカーが必要です。
- ポールまたはマストにアンテナを設置するには、次のいずれかまたは両方を用意する必要があります。
 - ホース留め金のネジを締めるマイナス ドライバ
 - 8 mm (5/16 インチ) のソケット レンチまたはボックス レンチ
- また、キットには付属していない次の工具と機材が必要になる場合もあります。
 - ドリルおよびドリル ビット
 - 鉛筆
 - 小さい木槌またはハンマー

多関節ブラケットを使用した壁面または天井への取り付け

(注) 留め具および取り付け面は、アンテナの重量とともに、アンテナの風力荷重をサポートするため、最小引き抜き力 68 kg (150 ポンド) を維持することが可能である必要があります。

- ステップ 1** アンテナの取り付け場所を決定します。
- ステップ 2** 4mm または #8 のネジ 4 本と留め具を使用し、ブラケットの穴を通して壁面または天井に自在連結マウントフランジを取り付けます。
取り付けキットに含まれている 2 つの連結マウントフランジブラケット (図 1 を参照) のいずれかを使用します。
- ステップ 3** 図 5 に示すようにブラケット金具を組み立てます。レンチを使用してブラケットの $\frac{1}{4}$ 20 X 1.25 インチネジを締め付けます。
- ステップ 4** アンテナケーブルが下向きになるようにアンテナを正しく向けます。レンチを使用して方位角および仰角の調整ピボットの留め具を緩めたり、締めたりします。
- ステップ 5** アンテナの方位角 (左右位置) および仰角 (上下位置) を調整します。調整ピボット ボルトを若干緩めて調整できるようにします。
方位角は ± 60 度 (図 8)、仰角は ± 60 度 (図 9) 調整できます。連結マウンティングアームとフランジブラケットの方位角および仰角のマークをガイドに従って使用します。図 7 を参照してください。
- ステップ 6** アンテナ位置を調整したら、ピボット ボルトを締め付けます。すべてのボルトを 3.4 Nm (3.4 Nm)。
- ステップ 7** アクセスポイントにアンテナの 8-DART プラグを接続します。
推奨ケーブルの種類については、「[推奨ケーブル](#)」セクション (26 ページ) を参照してください。

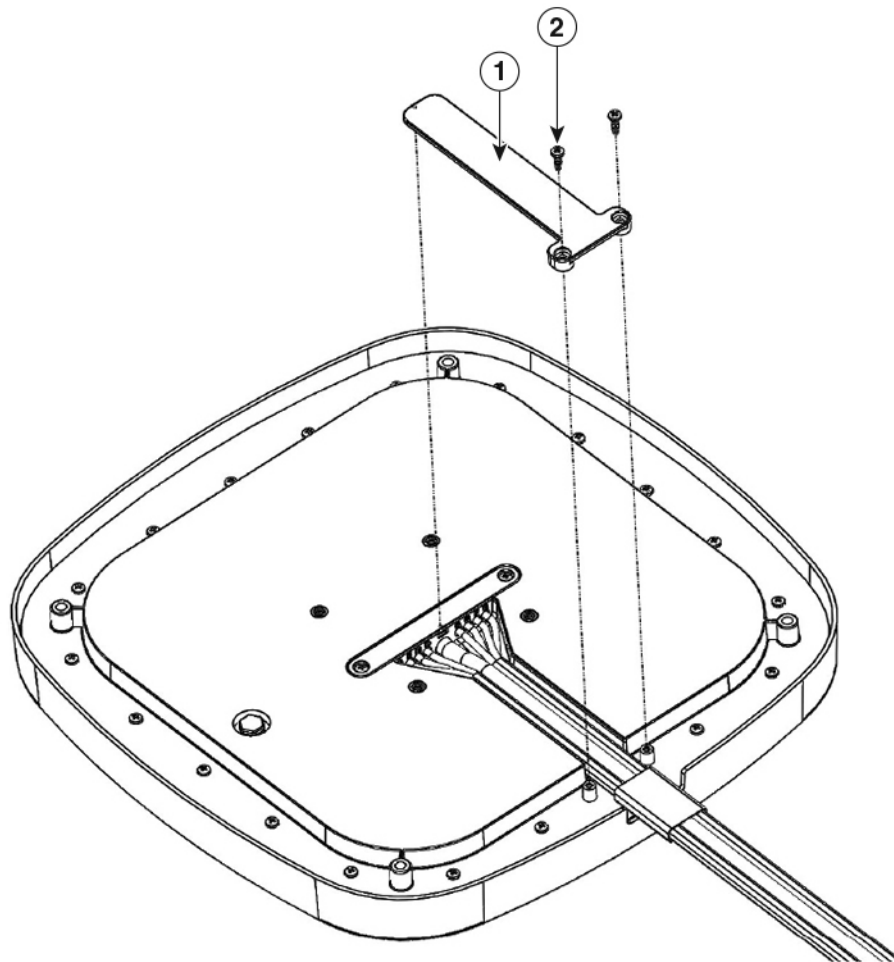
図 5 アンテナおよびブラケット金具のアセンブリの分解図



356529

1	アンテナ	7	取り付けアーム。キットには 1 個入っています。
2	1/4 インチのステンレス製平ワッシャ。キットには 4 個入っています。	8	5/16 - 18 ボルト。キットには 2 個入っています。
3	1/4 インチのステンレス製スプリットロックワッシャ。キットには 4 個入っています。	9	M5 X 0.8 ボルト。キットには 4 個入っています。
4	5/16 インチのステンレス製スプリットロックワッシャ。キットには 2 個入っています。	10	5/16 - 18 ナット。キットには 2 個入っています。
5	5/16 - インチステンレス製平ワッシャ。キットには 2 個含まれています。	11	8 進 DART アンテナケーブル。
6	M8 ステンレス製鋸歯状ワッシャ。キットには 2 個入っています。	12	連結マウントフランジブラケット。キットには 2 個入っています。

図 6 アンテナ背面のケーブル拘束具



356540

1 ケーブル拘束具。¹

2 ステンレスネジ

1. 垂直のケーブル配線が必要な場合は、ケーブル拘束具を取り外します。

図 7 方位角調整ピボットおよび仰角調整ピボットの拡大図

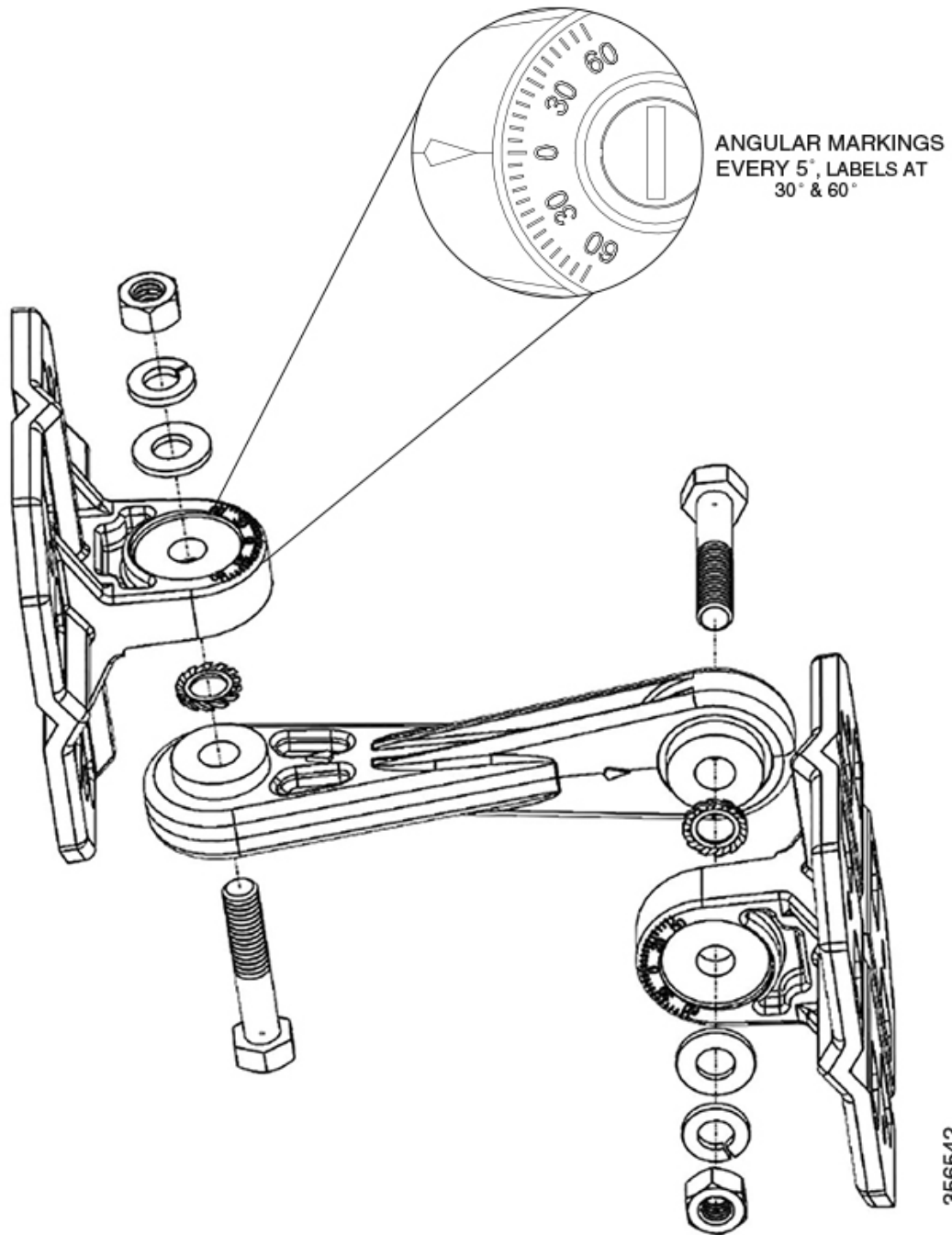
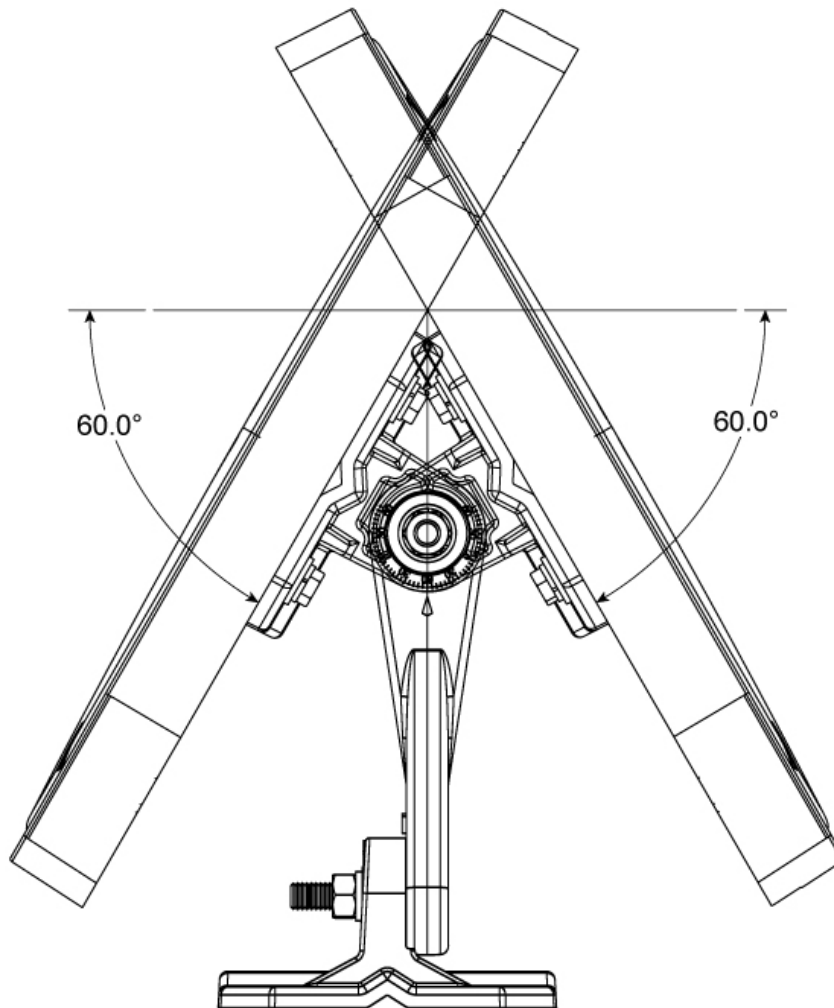
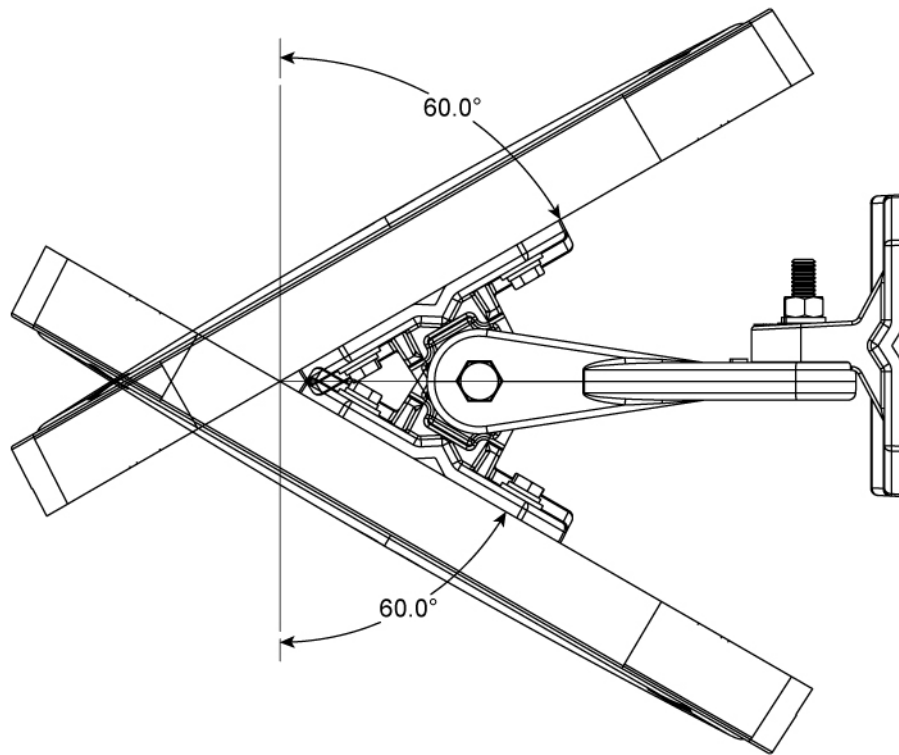


図 8 方位角調整



356486

図 9 仰角調整



356485

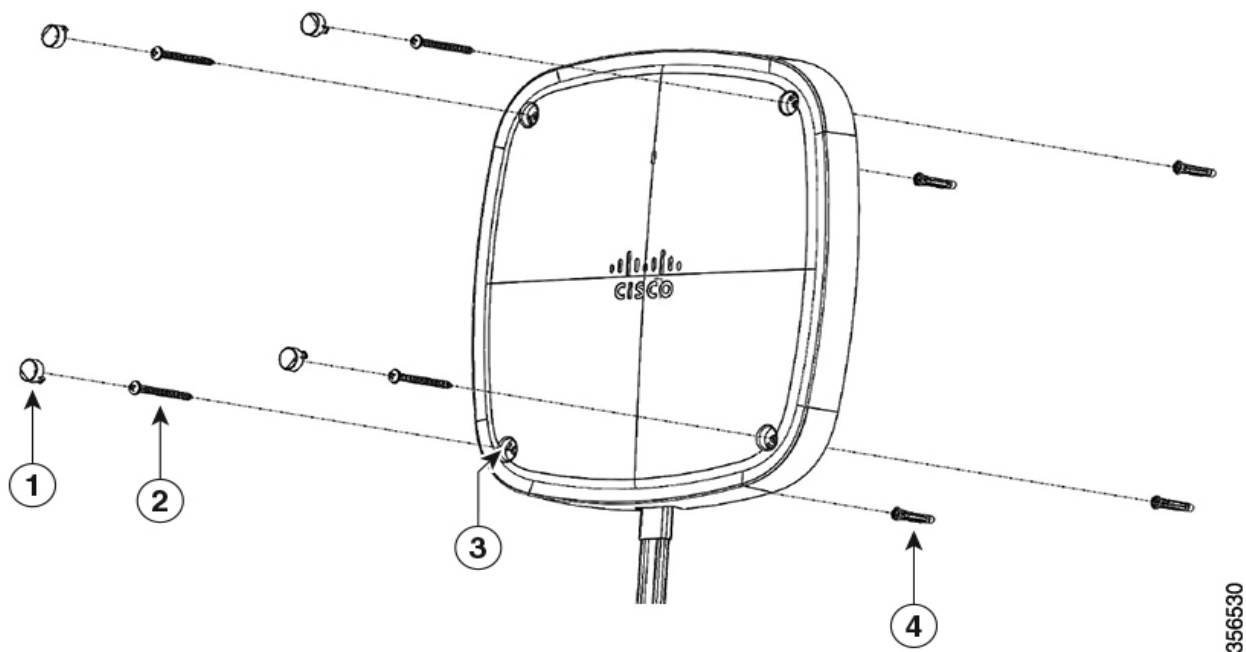
アンテナの取り付け穴を通した壁面への直接取り付け

(注) 留め具および取り付け面は、アンテナの重量とともに、アンテナの風力荷重をサポートするため、最小引き抜き力 68 kg (150 ポンド) を維持することが可能である必要があります。

- ステップ 1 アンテナの取り付け場所を決定します。
- ステップ 2 4 本の 4 mm または #8 ネジと留め具を使用して、アンテナの穴を通してアンテナを壁面に取り付けます。図 10 を参照してください。
- ステップ 3 アンテナケーブルが下向きになるようにアンテナを正しく向けます。
- ステップ 4 アンテナの取り付け穴を覆うようにキャッププラグを配置します。
- ステップ 5 アクセスポイントにアンテナの 8-DART プラグを接続します。

推奨ケーブルの種類については、「推奨ケーブル」セクション(26 ページ)を参照してください。

図 10 直接壁面に取り付けるためのアンテナと金具のアセンブリの分解図



1	キャッププラグ。	3	アンテナの 4 つの取り付け穴の 1 つ。
2	#8-18 ステンレス製セルフタップネジ。	4	#6-8、1 ¹ / ₄ インチのアンカー。

ポールまたはマストへの取り付け

(注) ポールまたはマストは、アンテナの重量とともに、風圧による負荷に耐えられる堅牢なものである必要があります。さらに、マストは、ホース留め金の締め付けに耐える強い構造を持つ必要があります。

ステップ 1 ポールまたはマスト上のアンテナの取り付け場所を決定します。

ステップ 2 キットに付属しているホース留め金を使用してポールまたはマストの取り付けフランジブラケットに配置し、取り付けます。ホース留め金を自在マウント フランジブラケットのスロットに通してください。

必要な連結マウント フランジブラケット 2 個のうちの 1 個はアンテナの背面に取り付けられて出荷されています(図 1 を参照)。キットに入っているもう 1 個のフランジブラケットをこの手順で使用します。

ステップ 3 ホース留め金は、アンテナを最終位置に配置するまで、フランジブラケットとアンテナを設置位置で支える程度に締め付けます。マイナス ドライバを使用して、ホース留め金のネジを締め付けます。

ステップ 4 フランジブラケットにアンテナとブラケットを組み立てます。図 5 を参照してください。

ステップ 5 マストにアンテナ、取り付けブラケット、およびホース留め金を配置します。参考までに、図 11 を参照してください。

ステップ 6 アンテナがマストに完全に固定されるまでホース留め金を締め付けます。アンテナがマストのまわりを回転しないことを確認します。

ステップ 7 アンテナをマストにネジで取り付けした後、アンテナの方位角(左右位置)および仰角(上下位置)を調整します。調整ピボット ボルトを若干緩めて調整できるようにします。

方位角は ± 60 度(図 8)、仰角は ± 60 度(図 9)調整できます。

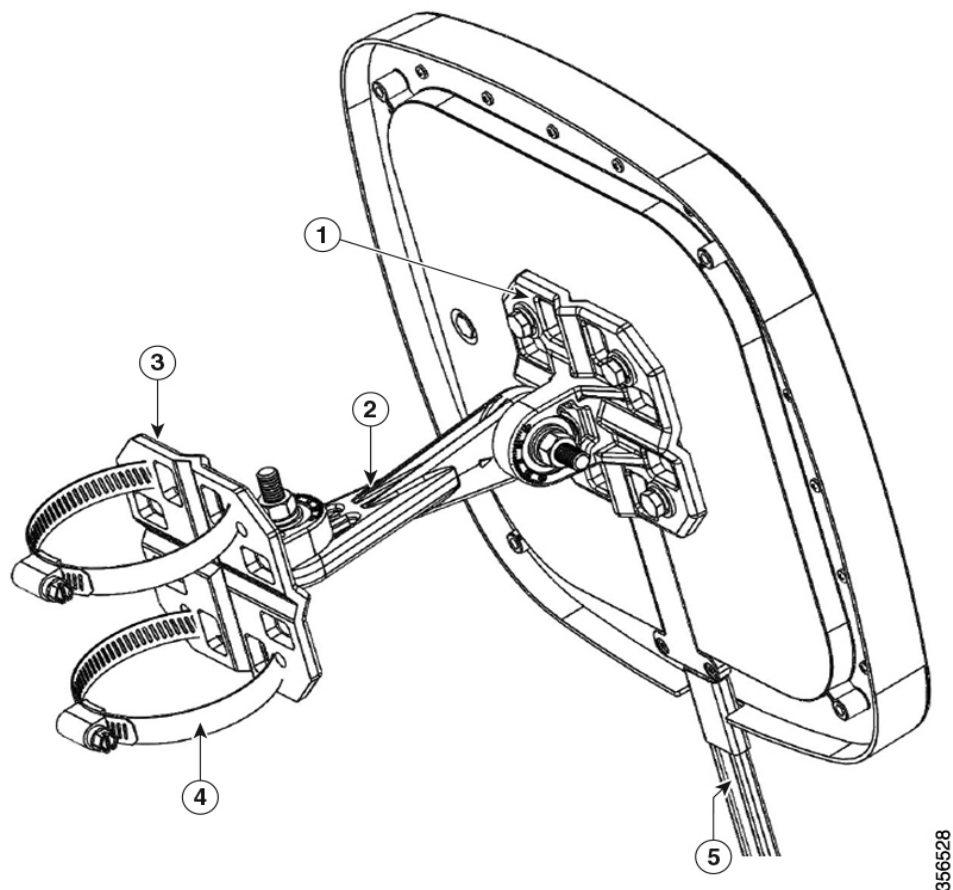
関節付きマウントアームにある方位角と仰角のマーキング、および壁面のフランジをガイドとして使用します。図 7 を参照してください。

ステップ 8 アンテナ位置を調整したら、調整ボルトを締め付けます。すべてのボルトを 3.4 Nm (3.4 Nm)。

ステップ 9 アクセスポイントにアンテナの 8-DART プラグを接続します。

推奨ケーブルの種類については、「[推奨ケーブル](#)」セクション(26 ページ)を参照してください。

図 11 ポール取り付け用のアンテナブラケットホース留め金アセンブリ



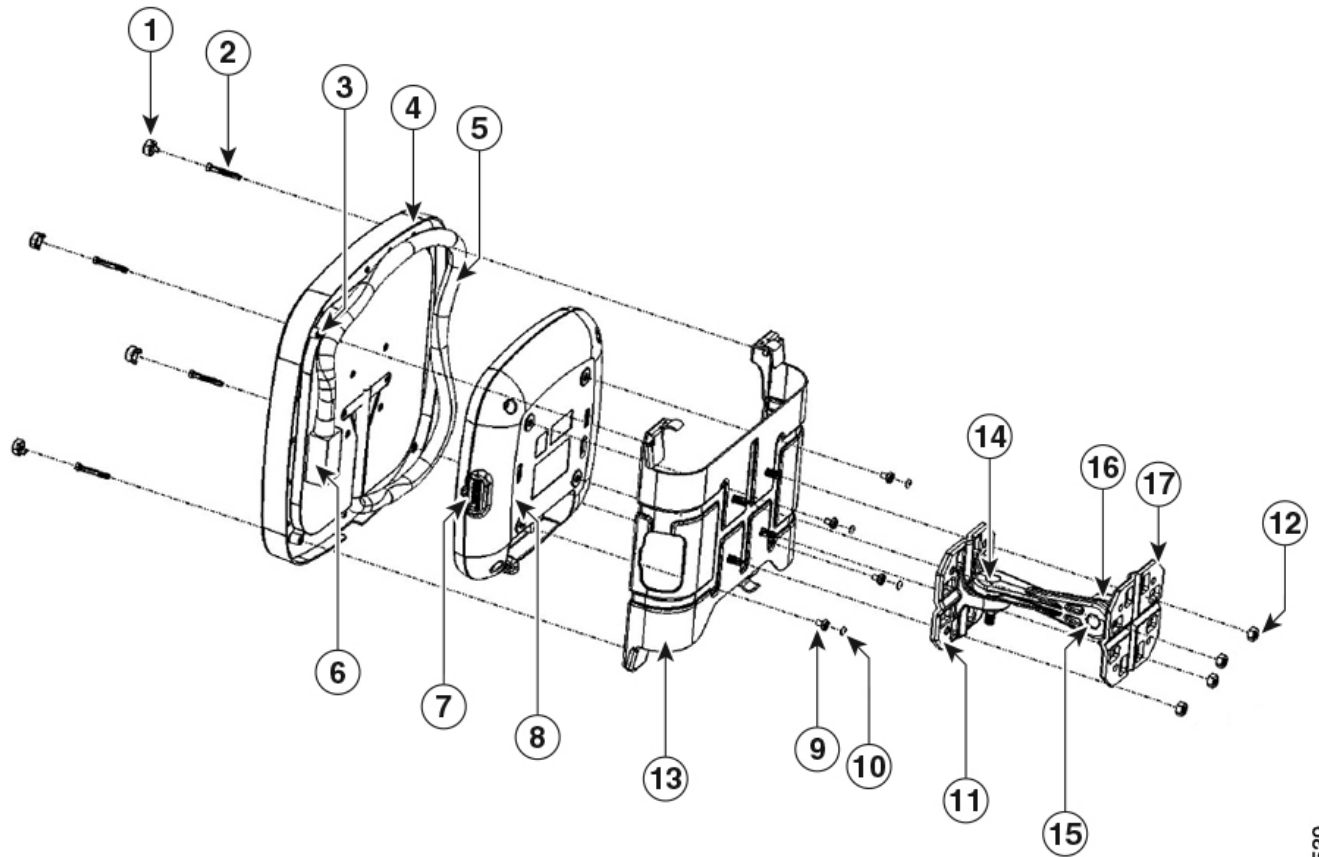
1	アンテナの背面に取り付けられている連結マウント フランジ。	4	ポールまたはマストにアセンブリを取り付けるためのワームギア タイプのホース留め金 (50 ~ 135 mm)。
2	関節付きマウントアーム。	5	アンテナをアクセス ポイントに接続するケーブル。
3	ホース留め金を使用してポールまたはマストに締め付ける連結マウント フランジ。		

AP がアンテナに直接取り付けられている壁面、天井、またはマストへの取り付け

AIR-AP-BRACKET-9= ブラケットを使用して、C-ANT9103= アンテナの背面に Cisco Catalyst シリーズ C9130AX-E アクセスポイントを直接取り付けることができます。図 12 を参照してください。

- ステップ 1 アクセスポイントの 4 本の各肩付きネジからゴム製の脚を取り外します。
- ステップ 2 AP の 4 つの肩付きネジを緩めて取り外します。
- ステップ 3 [ステップ 2](#) で取り外した 4 本の肩付きネジを使用して、ブラケットを AP に固定します。すべてのネジを 18 ~ 20 インチポンド (2.03 ~ 2.26 Nm) で締めます。
- ステップ 4 AP ブラケットモジュールをアンテナの背面に固定する 4 本の 1¹/₈ インチ L、8-32 ネジを締めます。すべてのネジを 18 ~ 20 インチポンド (2.03 ~ 2.26 Nm) で締めます。
- ステップ 5 キャップを使用して、4 本の 1¹/₈ インチ L、8-32 ネジを覆います。
- ステップ 6 結束バンドを使用してケーブルをブラケットに固定します。
- ステップ 7 4 つの 1/4-20 スレッドの鋸歯状フランジロックナットを使用して、AIR-AP-BRACKET-9= ブラケットをアダプタブラケットに固定します。すべてのネジを 39 ~ 43 インチポンド (4.41 ~ 4.86 Nm) で締めます。
- ステップ 8 アクセスポイントにアンテナの 8 進 DART プラグを接続します。

図 12 アクセスポイントをアンテナの背面に直接取り付けるためのブラケット金具のアセンブリの分解図



356539

1	キャッププラグ。	10	ゴム製の脚。
2	#8-18 ステンレス製セルフタップネジ。	11	AIR-AP-BRACKET-9= の背面に取り付けられている連結マウントフランジ。
3	アンテナの取り付け穴。	12	1/4-20 鋸歯状フランジのロックナット。
4	アンテナ。	13	AIR-AP-BRACKET-9= を使用して無効にすることができます。
5	アンテナの 8 進 DART ケーブル。	14	方位角調整ピボット。
6	アンテナの 8 進 DART プラグ。	15	仰角調整ピボット。
7	アクセスポイントの 8 進 DART ポート。	16	取り付けアーム。
8	アクセスポイント。	17	取り付け面に固定された連結マウントフランジブラケット。
9	肩付きネジ。		

アクセスポイントへのアンテナの接続

アンテナには、アクセスポイントの 8 進 DART ポートに接続される 8 ポートの DART プラグがあります。

C-ANT9103= には、Cisco Catalyst シリーズ C9130AX-E アクセスポイントによるアンテナの自己識別を可能にする回路が含まれています。C-ANT9103= アンテナには EEPROM が内蔵されており、AP が読み取ることで、ワイヤレスコントローラのアンテナタイプ、ゲイン、およびビーム幅が自動的に設定されます。

(注) このアンテナは、5 GHz 無線の 8x8 モードのみをサポートします。

推奨ケーブル

このアンテナには、長さ 2.5 フィートのバンドルケーブルが付属しています。

アンテナの塗装

標準外装グレードのオイルベースまたはラテックス塗料を使用すれば、アンテナおよびブラケットを塗装しても性能に影響はありません。メタリックまたはメタリック フレーク塗料はアンテナの性能が落ちるため使用しないでください。

(注) アンテナの塗装前に、アンテナ背面の左下にある圧力解放口をマスキング テープで覆い、詰まらないようにします。後で必ずテープを取り外してください。

Krylon Fusion for Plastic または Rust-Oleum for Plastic の使用をお勧めします(プライマー コートが必要な場合があります)。最適な結果を得るために、塗料メーカーの表面処理に関する推奨事項に従ってください。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコ サービス](#)にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#)にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

シスコバグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する [Cisco バグ追跡システム](#)へのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。